

会 議 録

会議の名称	第3回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成27年9月15日(火) 18:00~19:30
開催場所	白岡市保健福祉総合センター(はびすしらおか)会議室6・7
委員長等	委員長 佐々木 操 副委員長 熊坂敏彦
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	熊坂敏彦、大橋 登、中村輝久、五十嵐泰子、西村恵子、佐々木 操、高橋道禎、小林伸子、佐藤弘子、島村 隆、安藤貴徳、橋本正秀、石塚昭仁、岩上陽子、細井宣雄 ※出席者：15名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	高橋純悦 ※欠席者：1名
説明員の職・氏名	企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
事務局職員の職・氏名	企画政策課長 八木橋昌美 企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
その他会議出席者の職・氏名	白岡市 副市長 秋葉清一郎、総合政策部長 笠原英之 ㈱ジャパンインターナショナル総合研究所 竹澤慎太郎
傍聴者数	5人
会議次第	別添のとおり
配布資料	資料1 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略アンケート調査結果報告書 資料2 白岡市人口ビジョン(修正骨子案)

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
委員長	1 開会
副市長	2 あいさつ ～佐々木委員長より挨拶～
事務局	～秋葉副市長より挨拶～
委員長	(会議の公開について説明)
委員長	次第3の(1)「市民アンケート結果報告の確認について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	3 議題 (1) 市民アンケート結果報告の確認について (資料1について説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
O委員	「職場や学校が近い」と同時に「交通の便がよい」が2～3番目に挙がっています。また、将来設計でも「交通の便」が出ていますので、「交通の便」や地域の利便性をアンケートから見たほうが良いと思います。
M委員	逆に、副委員長にお伺いします。このデータを見て、当てはまる市町村のご経験はございますか。前回、ショッピングモールがない、魅力がない、駅前周辺に寄り道ができる施設がない、独身の方々の場所がない等、有識者の方が指摘された点が、そのまま数字に表れているように感じます。また、さいたま市の衛星都市のように見受けられたので、その点、ご意見を頂ければと思います。
副委員長	今回のアンケートで、ベッドタウンという白岡市の特性が浮き出たと思います。巨大なさいたま市の衛星都市的な感じと、東京のベッドタウンの両面があるので、都市間競争では優位性が高いと思います。
	今まで関わったところで、常磐線やTXの沿線の東京からは30分～40分、純粋なベッドタウンで、人口規模が白岡市くらいのまちは見当たりません。流山は小さな都市ですが、都内のベッドタウンとして、独立してやっています。
	今回のアンケートは、住んでいる方の特性やどこに勤めて何を感じているかがよく出ているので、今後のビジョンを考える上で非常にいいアンケートになったと思います。

(会議の経過)

I 委員	<p>「交通の便が悪い」というのは、駅まで行く交通の便が悪いのか、買い物をする施設に行く便が悪いのか、何をもって「交通の便が悪い」と言っているのかが見えてきません。「老後の生活に向かない」というのも、医療施設が不十分で介護をする場所がないことか、介護の施設などが充実していないことなのかが分かりません。そこまで調査をすると、住民の方の考えがもっと見えてくると思います。</p>
事務局	<p>今回のアンケートから読み取ることはできませんが、来年度、総合振興計画の後期基本計画の見直しを予定していますし、市役所で他に取っている調査もありますので、吟味して、そういうところまで突き詰めて考えたいと思います。</p>
委員長	<p>他に、ご意見はございませんでしょうか。 ないようなので、次へ進みます。議題（２）「人口ビジョン（修正骨子案）について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（２）人口ビジョン（修正骨子案）について （人口ビジョン（修正骨子案）について説明）</p>
委員長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
N 委員	<p>先ほどのアンケートを生かしているのかという疑問があります。アンケートの122～123 ページで、他の場所に転居したい方々にその理由を聞いて、右側に「交通の便が悪い」とありますが、これが「転出の抑制」の取り組みの3つのどこに書かれているのですか。ここに書くことが、アンケートを生かした視点を重視することだと思えますし、他のところもできているかが気になります。</p> <p>佐藤委員が言われたように、「交通の便が悪い」は、どこを指しているかまで分からないと真髄までたどり着かないと思えますが、「老後の生活」は、後ろにあるフリーコメントから拾うことができると思えますので、せっかく取ったアンケートを生かすことも大切だと思います。</p> <p>20 ページは、市のほうがこれをしたいという印象を受けるので、双方向で施策を打っていくことも大事だと思います。</p> <p>それから、1 ページ目の上から2 段落目の「小売り販売の停滞による商店街の衰退、税収減による自治体財政の悪化」は、市民にとってなぜ駄目なのかまで掘り下げたほうが良いと思えますし、「農業の担い手」など、他の箇所でも市の目線のところがたくさんあるので、市民の目線で見直していただきたいと思えます。</p> <p>人口の変化について、1 対1 で対応ができていないところが気になりますし、人口の話は、1、14、20 ページの3 か所に出てきて、ばらばらしている感じがするので、すっと落とし込めるようにしていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>アンケート結果の反映として、「交通の利便性の向上」は、「転出の抑制」ではなく、「定住人口の増加」に入れています。</p>

(会議の経過)

○委員	<p>課題に対しての対策が対比して分かるように、修正したいと思います。</p> <p>1 ページの2 段落目でご指摘を頂いた部分は、国の予測で、国の資料を扱ったものです。市にどのような影響を与えるかは、15 ページの「人口減少対策の必要性」で対応したいと考えます。</p> <p>市民目線というご意見は、検討したいと思います。</p>
事務局	<p>まず、創生本部会議の構成メンバーを教えてくださいと思います。</p> <p>2 つ目は、15 ページに「高齢人口が増加し生産年齢人口が減少することで、地域経済、行財政運営うんぬん」と書かれていますが、高齢者人口が増えるから生活の利便性が低下して問題だということになりますし、国の定年退職者を戻すというやり方に反しますので、この文章は変えていただきたいと思います。</p>
○委員	<p>創生本部会議は、本部長は市長で、副市長、教育長、部長職全員、課長職全員の33 名で構成されています。</p> <p>15 ページの「人口減少対策の必要性」は、上の医療費関係の表で歳入と歳出の状況を比較したときに、財政のひっ迫によって地域経済、行政運営がひっ迫するというイメージで載せましたので、表現を検討させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>税金の問題ですが、平成 24 年度～平成 25 年度の白岡市の税金はプラスで、今年度も税金が3 %ほど増えています。また、国が出している指標でも、平成 24 年度～平成 25 年度にかけて非常に良くなっています。今の白岡市の財政規模からいえば、非常に運用が良く、全国的に見ても上のほうだと聞いていますので、財政難ということではなく、アンケートのほうからの迫り方が必要だと思います。</p> <p>また、社会保障に対する見方は、国がやろうとしていることや、地方としてどのようにフォローできるかという見方からの迫り方が必要だと思います。アンケートにも、医療負担が大変というのも出ていますので、一概に行政の問題とは言えないと思います。</p>
○委員	<p>今の白岡市の財政状況は非常にいい状況ですが、生産年齢人口が減れば税金も減ります。10 ページの社人研の推計では、生産年齢人口は、現在の31,576 人から平成 72 年には19,249 人に減っていますので、税金の減も否めない状況だと考えます。また、道路、水道、下水道などのインフラ設備が老朽化して、今後、修繕にお金がかかることも想定され、行財政運営の状況は悪くなると考えています。</p>
N委員	<p>平成 24 年～平成 25 年の将来負担比率が、25 ポイントから9 ポイントと、16 ポイント落としていきます。地方債の返済も進んでいますので、白岡市の財政部門の方の努力を評価して、どこまでいくべきなのかを考えたほうがいいと思います。</p> <p>18 ページの「今後の基本的視点」で、「1 定住人口の増加」と「3 転出の抑制」の違いが分かりません。1 を「転入の増加」にして、1 と3 の違いを見せてはど</p>

(会議の経過)

事務局	<p>うかと思えます。</p> <p>ご指摘のとおり、「1 定住人口の増加」は、「転入の促進」という意味合いです。「3 転出の抑制」は、現在、白岡に住んでいる人にそのままいていただきたいという施策を書かせていただきました。1の表現は、こちらに来てもらいたい施策として挙げさせていただいています。</p>
B委員	<p>白岡市は、東京のベッドタウンから、さいたま市が政令指定都市となって非常に発展しました。東京でなくても、さいたま市や近隣市町にいい職場があるということから、こういうアンケート結果が出たと感じています。</p> <p>前回、衣食住近接型のまちづくりや企業誘致について申し上げましたが、地元で勤めていると、家に帰って子どもと接する時間が長く、地域の活動へも出られませんので、衣食住近接型のまちづくりが必要だと感じています。</p> <p>財政では、国もお金がなくなると地方交付税の単価を下げたりしますし、地方財政計画の標準財政規模から考えると、少子高齢化で歳入が減るのは当然の結果だと思います。白岡は、財政状況がいために、蓮田や久喜よりも交付税の額が少ないのです。一般論では、少子高齢化で働き盛りの方がいなくなり、介護や医療費が増えて厳しい財政状況になっていくと考えられます。人を増やして歳入を増やすためには、市民の方が近くの会社へ行って、家族と一緒に暮らす生活を求めていくことによって転入者が増えて、財政が増加すると思います。そういう意味で、全般的にはよくできていると思います。</p>
委員長	<p>事務局より求められている人口ビジョンの方向性について、ご意見をお願いします。</p>
D委員	<p>アンケート調査の「交通の便が悪い」ということに対して、駅まで出るのに大変、駅に出ても大きな商業施設がないと言っている住民が多いと感じますので、そういうことも踏まえた具体的なことができたらいいと思います。</p> <p>また、「子育てをしやすいまち」ということでも、いろいろ疑問があるようなので、考えていただきたいと思います。</p>
E委員	<p>P T Aの役員として、子どもたちの学校での過ごしやすさを考えて活動しています。「保育施設の質の充実」ということで、小中学校の教室に冷房が無く厳しい状態で教育を受けているので、子どもたちの集中力を高めるためにも冷房をぜひということや、子どもたちが使い慣れない和式のトイレも改善していただくように、市P連の全会長から意見書を出させていただきました。言い続けることで、これからの子どもがより良い教育を受けられるようにと考えています。</p> <p>また、子どもたちが安心・安全に登校できるように、危険箇所の改善を申し上げていますが、お金にも関わることなので、このような会議に参加させていただいて、市P連の要望が通りやすくなればと思います。</p>

(会議の経過)

事務局	<p>表現の内容やアンケートを十分に反映させること、市民にとってどのように良くなるのかなどのご意見は事務局で受け止めて、修正していきたいと思います。</p> <p>1ページの「白岡市人口ビジョン策定の背景」の消費の減退、生活インフラの維持管理への負担増、医療・福祉ニーズの増加などの課題は、人口ビジョンという性格上、全ての課題に対応できる施策を入れられるかどうかは分かりませんが、検討して、表現等も含めて修正したいと考えています。</p> <p>頂いたご意見に基づいて次回までに事務局で修正しますが、「今後の基本的視点」の3つと「目指すべき将来の方向」についてご議論いただいて、本日、方向性としてご了承いただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>では、委員の皆さまから頂いたご意見を反映して修正し、この骨子案で進めてまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(「異議なし」の声あり)</p>
委員長	<p>それでは、修正をして、この骨子案で進めてまいります。</p> <p>(3)「その他」について、事務局から何かございますか。</p> <p>(3) その他</p>
委員長	<p>事務局からはありません。</p> <p>委員の皆さまから、ご意見、ご質問はございますか。</p> <p>ないようですので、本日の議事は全て終了しました。</p>
事務局	<p>事務連絡をいたします。次回、第4回まち・ひと・しごと創生有識者会議は、10月27日火曜日、午後6時から、はぴすしらおか会議室6・7で開催予定です。詳細は後日郵送で通知いたしますので、ご確認をお願いします。</p>
副委員長	<p>4 閉会 ～副委員長より挨拶～</p>